

4km 四方の小さな村に
ぎゅっと詰まった
大きな魅力をお届けする
ガイドブックです。

福島県 会津 湯川村



Yugawa Village

上質な時間が
流れる場所。

CONTENTS

- 06. 湯川村マップ
- 08. 湯川村を知る
- 12. #村の人に聞く暮らしやすさ
- 14. #村の人に聞く子育てしやすさ
- 16. #村の人に聞く学びやすさ
- 18. 充実したサポートで子育てを応援します
- 20. #村の人に聞く働きやすさ
- 22. 移住へのステップ
- 24. 村での暮らし Q&A
- 25. 移住体験・農業体験・ワーキングホリデー

自然の絨毯じゅうたんに魅せられて。

今、会津地方のちょうど真ん中にある。
福島県で一番小さな村、湯川村だ。

磐梯山に見守られ、

湯川村の小さなカフェで過ごす。

静かな時間がゆっくりと流れ、

外からは子どもたちの楽しそうな声が聞こえてくる。

もうすぐこの村は美しい緑色の絨毯になる。

そう、田植えの時期である。

4 km四方の小さな村は、

一枚の大きな田んぼに見えるほど、

米作りが盛んな村。

すり鉢型の会津盆地のほぼ中央に位置し、

山々から清流が流れ込む湯川村は、

米作りに最適な土壌を生み出している。

見渡すと水田が広がっていて、

四季折々に見える表情は、

想像するだけで美しい。

秋には村全体が黄金色に染まり、

自然の恵みを堪能できる。

「福島に黄金郷があったのか」

と、来る者を魅了するに違いない。

湯川村は子どもたちの比率が高い。

保育所、幼稚園の庭では、

元気に子どもたちが走り回っている。

子育て支援充実の背景には、

「将来湯川村を担ってほしい」と

というメッセージが込められているのだ。

現在、若者向けに戸建ての賃貸住宅が建てられていて、

想いの継承を図っている。

一度訪れると、また行きたくなる。

湯川はそんな村だ。

人々の温かさや自然のおもてなしに、

湯川村のファンは多い。

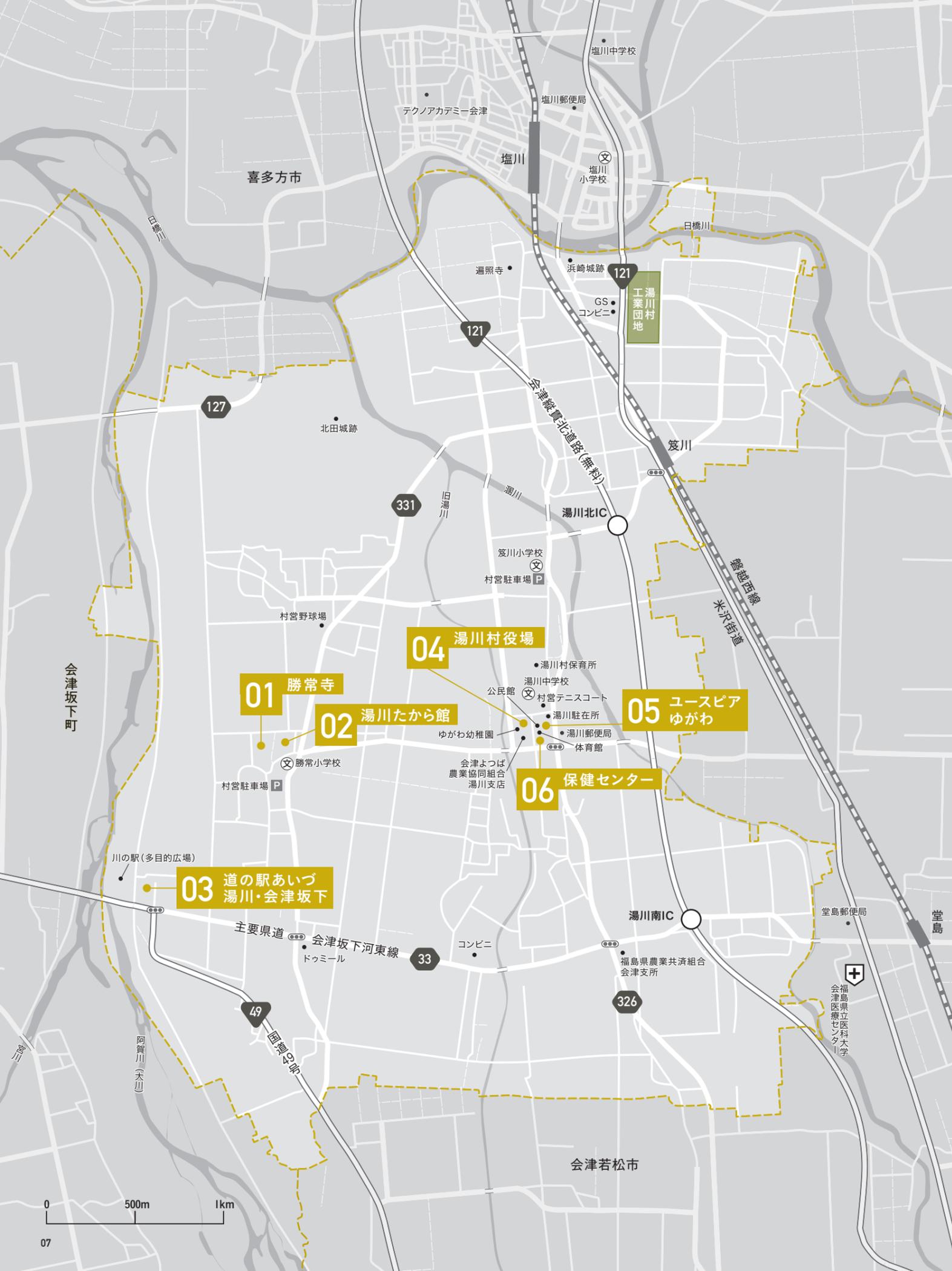
福島県内で一番小さな村に、

大きな期待を持って訪れてみてはいかがだろうか。

会津盆地のおへそ

湯川村

YUGAWA VILLAGE MAP



(ACCESS)



郡山駅	磐越西線	会津若松駅	磐越西線	笈川駅
	約65分		約20分	



郡山IC	磐越自動車道	会津若松IC	会津縦貫道	湯川村
	約40分		約10分	



湯川村は4km四方の福島県で一番小さな村。県では唯一山林が無い市町村です。平成27年に全線開通した会津縦貫北道路のインターが2つあるなど、交通の要衝となっています。最寄の高速道路インターまでは車で10分の距離です。

01 勝常寺



木造薬師如来坐像及び両脇侍像が国宝の指定を受けています。
TEL0241-27-4566
勝常寺代舞1764
【営】9:00~16:00(仏像拝観は要事前予約)
【休】毎週火曜、お盆、11月16日~3月末、その他臨時休有

02 湯川村地域活性化施設 湯川たから館



真さん映画の撮影監督である故高羽哲夫氏の遺品等を展示しています。
TEL0241-27-3957(湯川村商工会)
勝常寺堂後830
【営】9:00~16:00
【休】毎週火曜、年末年始等

03 道の駅あいつ 湯川・会津坂下



美味しい野菜や果物、お土産品、手間暇かけたお食事が楽しめます。平成26年にオープンし、年間100万人以上が訪れる会津観光の拠点となっています。
TEL0241-27-8853
佐野目字五丁ノ目78-1
【営】9:00~19:00 【休】2月第3水曜(季節によって変動有)

04 湯川村役場



平成27年に完成した新庁舎において、住民に寄り添った行政サービスを行っています。
TEL0241-27-8800
清水田字長瀬18
【受】8:30~17:15
【休】土曜・祝祭日・年末年始
戸籍関係届出については、24時間受付

05 ユースピア ゆがわ



若者を中心とした村民すべての交流と憩いの施設です。
TEL0241-27-8880
清水田字長瀬1
【営】8:30~21:00
(使用する日の3日前までに予約)

06 保健センター



各種健診(成人・乳幼児)・予防接種等、村民の健康を守ります。
TEL0241-27-3110
清水田字川入9
【受】8:30~17:15
【休】土曜・祝祭日・年末年始

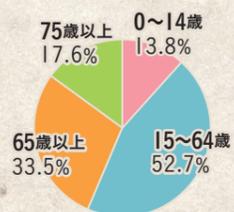
= about yugawa village =

湯川村って どんなところ？

湯川村は、会津のへそとも言われるように会津盆地の中心に位置しており、国道や主要県道、会津縦貫北道路が通っている交通の要衝です。勝常寺を代表とする歴史的遺産と美しい田園環境に恵まれ、「米と文化の里」と呼ばれています。また、福島県唯一山林がない自治体で、自然災害が非常に少ない地域でもあります。水稻を中心とした農業が盛んで、村が1枚の田んぼのような美しい景観となります。田植え時期には緑色の絨毯、収穫の時期には黄金色の絨毯となり、年間通して四季折々の魅力に触れることができます。

人口

3,110人

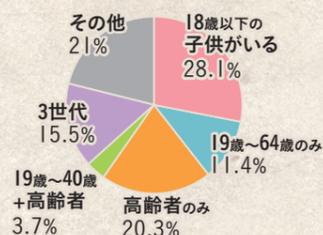


年少人口の割合は
県内3位

資料：H30.4.1 現在 県現住人口調査等

世帯数

924世帯

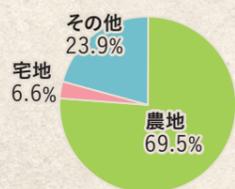


一世帯に
平均約3.3人

資料：H30.4.1 現在 県現住人口調査等

面積

16.37km²



福島県で
最も小さい自治体

資料：気象庁HP（2018年会津若松市）

気温

平均気温



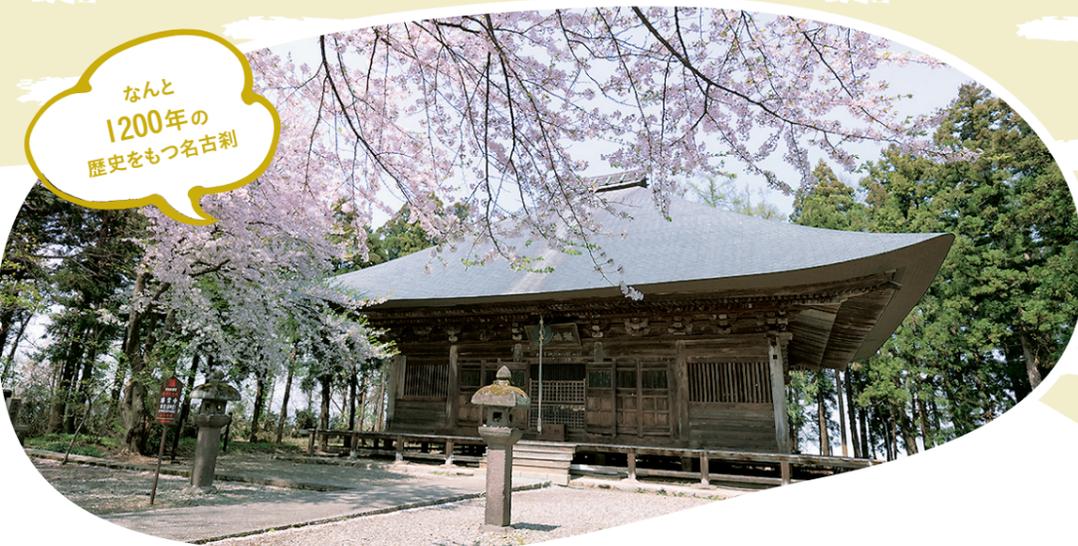
盆地ならではの気温



勝常寺

Shojoji

大同二年(807)最澄(伝教大師)の論敵として有名な法相宗の碩学徳一上人によって開かれた東北を代表する古刹。創建当時は七堂伽藍が備わり、多くの附属屋、十二の坊舎、百余ヶ寺の子院を有する一大寺院であったと伝えられています。現在は元講堂、本坊、庫裏、中門寺で仏像が30余躯。国宝の木造薬師如来、両脇侍像(日光・月光菩薩立像)、国重要文化財には薬師堂及び仏像9躯。また、「会津の三十三観音めぐり」が日本遺産の登録となっています。第10番札所として十一面観世音が位置付けられており、毎年4月28日には、県重要無形民俗文化財として指定を受けている勝常念佛踊りが奉納され、天下泰平・五穀豊穡を祈願します。



なんと
1200年の
歴史をもつ名刹

米と文化の里
知る。湯川村を



食味ランキング
連続特A!
冷めてもおいしい

会津湯川米

Aizu Yugawa Mai

北には猪苗代湖を源とする日橋川、西には阿賀川本流が流れる等、清冽な水により肥沃な大地が形成され、農業が主産業です。特に米作りが盛んな村で、粘り・艶・食味に優れた米はふるさと納税で全国各地から3億円近い寄附をいただく等、高く評価されており、米どころとして知られています。食味ランキング(※1)では最大の評価である特A評価を獲得。一反あたりの収穫量は県内一で、減農薬・減化学肥料での栽培にも力を入れています。

(※1) 試食による食味官能評価試験を行い、結果をランキングとしてまとめたもの。良質な米作りの推進と、米の消費拡大に役立てることを目的として、1971年産米から毎年、一般財団法人日本穀物検定協会が実施している。

道の駅あいづ 湯川・会津坂下

Michinoeki aizu
Yugawa-Aizu bange

平成26年に湯川村と会津坂下町が共同で設置した、年間100万人以上が訪れる道の駅です。地元で採れた新鮮な野菜等を販売する農産物マーケット、選りすぐりの特産品を取り揃える物産館のほか、会議等で利用可能な交流促進施設や、遊具等が設置されている河川そばの川の駅(多目的広場)等があります。様々なイベント会場としても利用されています。

来客者は
年間100万人以上!



東北の道の駅で
ジェラート売上
No.1

農業法人を立ち上げました!



平成30年7月、湯川村及び会津よつば農業協同組合が連携し、株式会社会津湯川ファームが設立されました。農地保全と担い手育成を目的としており、将来的には米の輸出等の事業も行う予定です。



湯川村は農家支援を目的としたふるさと納税を受け入れており、「湯川村産コシヒカリ」及び地酒「瑠璃光」を返礼品としています。全国各地から毎年約3億円のご寄附を頂いております。

ふるさと応援寄附金ご賛同者多数!



ゆがわまいちゃん

茶碗に盛られたごはんをイメージして作られた湯川村のキャラクター。あわてんぼうで食いしん坊な女の子。頭に付けたご飯粒がチャームポイント。8月18日生まれ。

通年イベント

- 4月 勝常念佛踊り
- 8月 夏祭り
- 9月 村民運動会
- 10月 湯川村新米祭
- 11月 産業文化祭



勝常念佛踊り



夏祭り

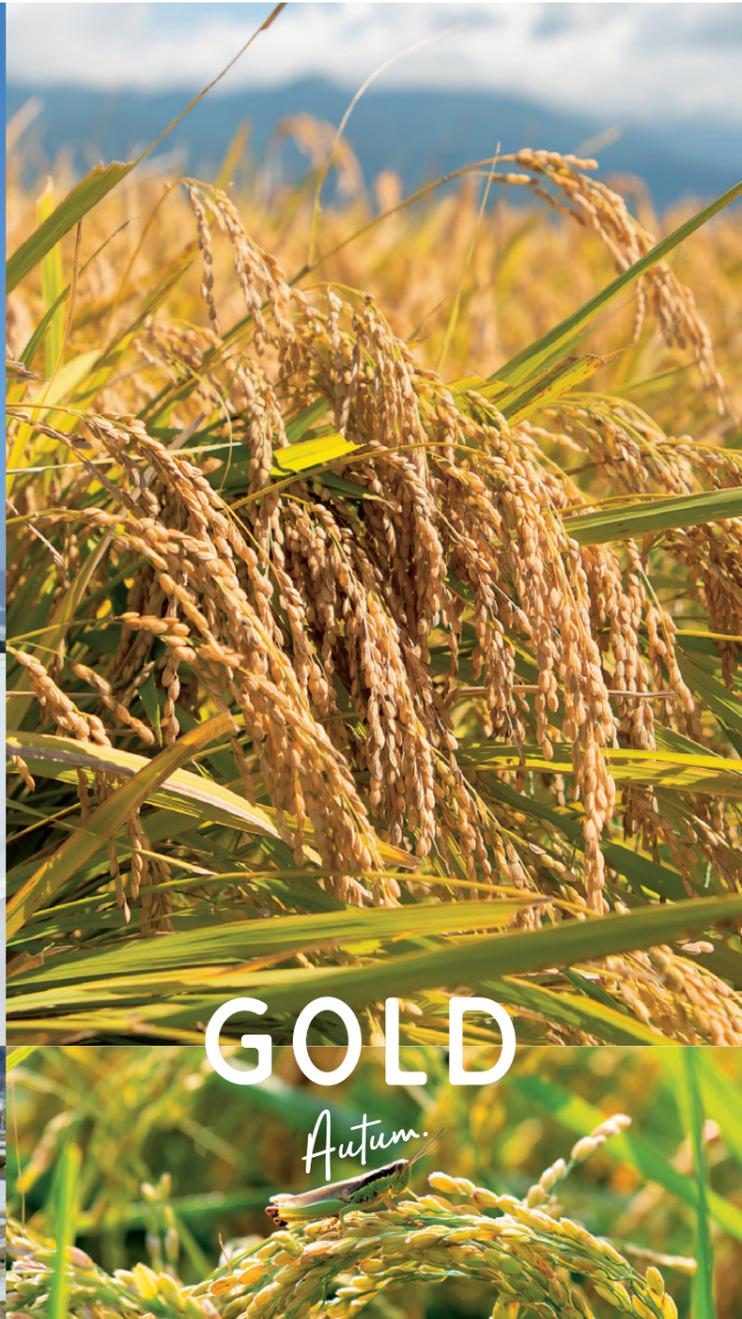
村の人に聞く

INTERVIEW



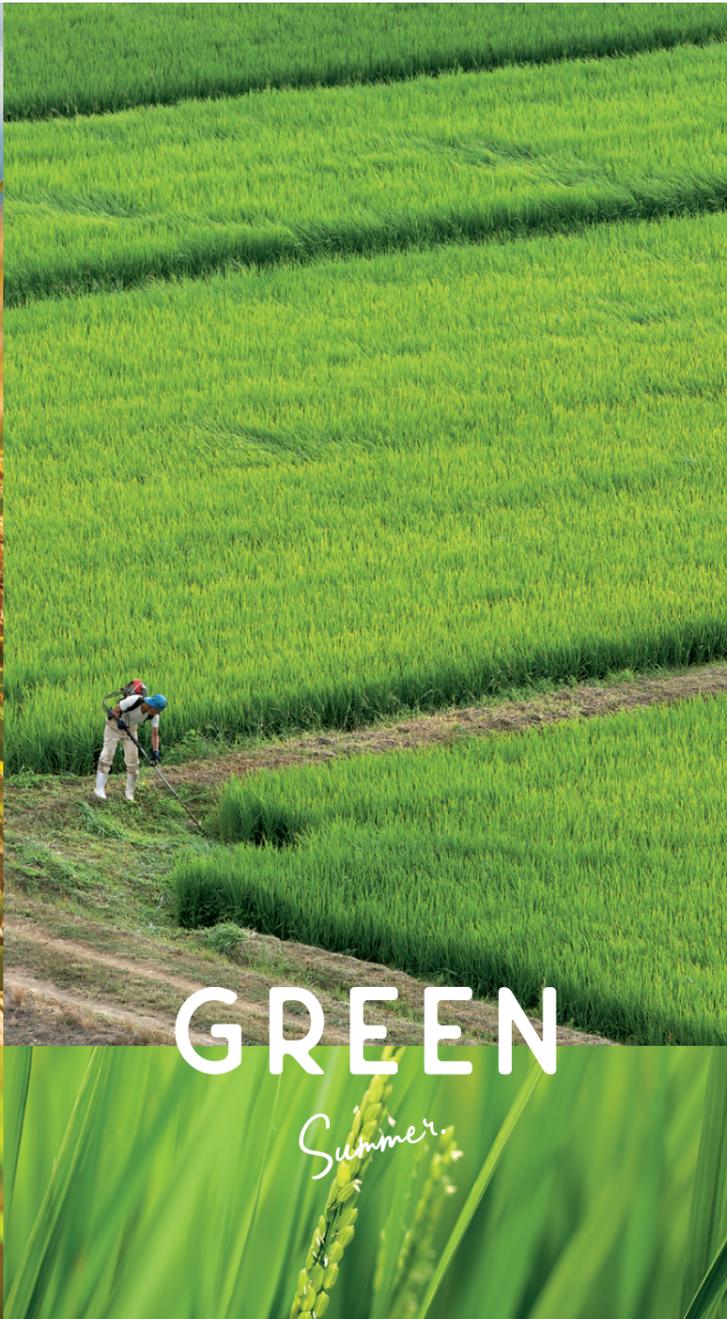
WHITE

Winter.



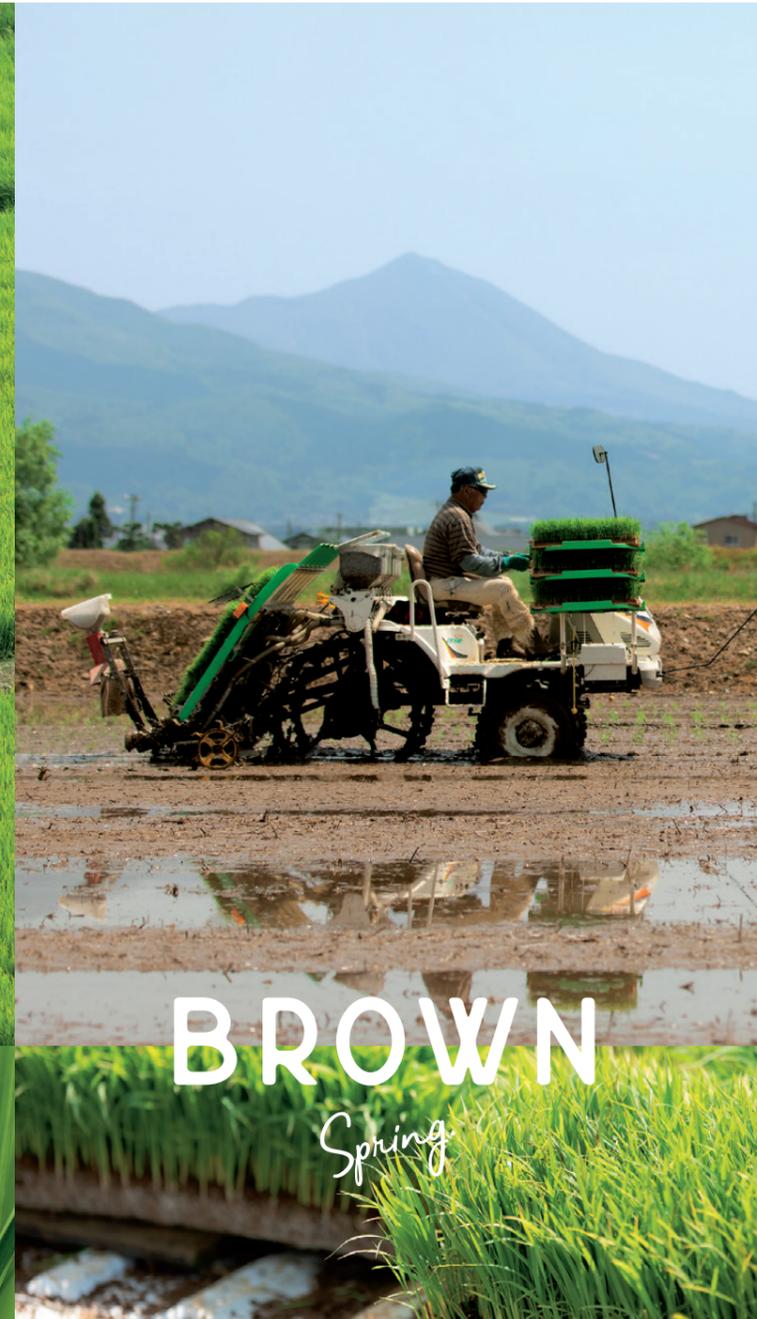
GOLD

Autum.



GREEN

Summer.



BROWN

Spring.

この4km四方の小さな村に、溢れんばかりの素敵な魅力が詰まっています。
「暮らしやすさ」「子育てしやすさ」「学びやすさ」「働きやすさ」の4視点から、湯川村の魅力を紐解きます。
実際に住んでいる皆さんの言葉から見えてくるもの。それが皆から愛されている湯川村です。



福島県を代表する山、磐梯山を望む湯川村で夢のマイホームを手に入れた二瓶さん夫妻。絶対に付けたかったというこだわりの暖炉で温かい生活を送っています。

おさんぽ好きなカイくん



暮らしやすさ

自然の移ろいや人との繋がりを感じる、温かい村です



二瓶さん夫妻

湯川村に住むことで四季を実感規則正しい生活が、今は心地よいです

平成27年に湯川村へ移住してきた二瓶さん夫妻。暮らしやすさについてお話を伺いました。「仕事上、会津若松市や喜多方市、会津坂下町などを行き来するので、そのちょうど真ん中にある湯川村はとても便利です。村内に会津縦貫北道路のICが2つもあるため、アクセスの良さを感じています。湯川村は会津盆地のへそと呼ばれ、ほぼ中央に位置します。村内どこからでも縦貫道まで近く、その利便性が魅力です。「もともとラーメンが好きなので、ちよっとそこまでの感覚で、喜多方市や会津若松市まで行けてしまいます」。生活拠点の真ん中に湯川村を選んで良かった、と笑顔が溢れていました。

「住み始めて3年ですが、一番良かったことは、食べ物に感謝できるようになったことです。農家の方の働く姿を毎日見ること、今まで以上に「飯がありがたく感じられます。そして何より、湯川米が美味しいです。まず外食すると分かりますし、友達を呼んで、「飯をこ馳走すると、その美味しさにみんなびっくりしますよ」。会津湯川米は、ふるさと納税額で全国50位以内に入る逸品です。普段の生活で湯川米を楽しめることは、贅沢な日常かもしれません。」

最後に、湯川村での生活を考える方にメッセージを頂きました。「湯川村は四季を満喫できる素晴らしい場所です。食べ物は美味しいし、磐梯山を望む景色も最高ですよ。あと、人が温かいです。湯川村に来て、今までより近隣の皆さんとつながりが強くなりました。様々な行事にも参加しています。生活が規則正しくなり、飲みにもあまり行かなくなりました(笑)」

自然の恵みが豊かな湯川村。二瓶さん夫妻は、その雄大な自然の中で、自分たちらしい生活をスタートさせています。

●湯川村の暮らし

湯川村は会津盆地のほぼ中央に位置し、山がなく、災害が非常に少ない村です。また、国道や主要県道、会津縦貫北道路が通っている交通の要衝でもあります。交通の便が良く、会津若松市、喜多方市、会津坂下町に隣接していることから、日常生活の利便性が確保されていて、「暮らしやすさ」が実感できる村です。

●暮らしやすさ

○災害の少ない村
福島県で唯一山林が無い平坦地のため、土砂崩れや雪崩の心配もなく、災害が非常に少ない村と言われています。

○自然が豊か

会津盆地の中央に位置し、村の大部分が田園地帯。四季折々に彩られた豊かな自然を楽しめます。

○主要施設の集約

保育所、幼稚園、中学校、農協、郵便局、役場庁舎、公民館など、生活に関わる主要施設が集約されています。

○交通の利便性

会津若松市、喜多方市を結ぶ会津縦貫北道路が村内を通っており、湯川北IC・南ICの2ヶ所から利用可能です。



●上質な田舎暮らし

湯川村は勝常寺を代表とする歴史的遺産と美しい田園風景に恵まれ、「米と文化の里」と呼ばれています。田植えの時期には、村が一枚の田園のような美しい緑の絨毯・収穫の時期には村全体が黄金に染まります。さらに山々から流れ込む清涼な水と豊かな土壌で実った「会津湯川米」は誰もが認める美味しさです。食の充実・利便性の確保・魅力溢れる自然。磐梯山を望む上質なスローライフが日々の幸せを感じさせてくれます。



●若者定住住宅

子育て世帯の住居を確保し、若い世代の子育てを支援するため、村営の若者定住住宅の建設を進めています。**戸建ての賃貸住宅**を整備し、のびのびとした子育て環境を提供します。

「暮らしやすさ」が充実しています

- 01 ちょうどいい位置**
 - ・会津の中心に位置している
 - ・会津縦貫道が開通し、村内2か所のICまですぐ
- 02 安心して暮らせる**
 - ・山がなく災害が少ない
 - ・土地代が近隣市町村(会津若松市・喜多方市)に比べ安い
 - ・上下水道が全域に整備されている
- 03 移住しやすい支援がある**
 - ・若者定住賃貸住宅を整備中 (戸建20戸)
 - ・空家改修補助
 - 県事業 最大250万円 県外又は被災者の方
 - 村事業 最大100万円 村外の方
 - ・若者の住宅取得に対する補助金を創設予定



全国誌に掲載されるほどオシャレなリビング。そこではしゃぐ子どもたち。庭とつながっているので、楽しそうに行ったり来たりしています。自然は子どもたちにとって最高の遊び場です。



子育てしやすい



子どもたちの笑顔にみんなにっこり
自然に触れて、のびのびと育てたい

子育て支援が充実

○乳幼児・こども医療費助成事業
医療費が18歳以下の場合には無料です。

○予防接種助成事業（妊婦・18歳以下）
ロタウイルス、おたふく、インフルエンザの予防接種を受けた際に助成します。

○子育て世代包括支援センター
専門のスタッフが、妊娠・出産・子育てまで悩み・不安・疑問等様々な相談に向き合い、サポートを行います。

産前支援

○母子手帳交付、妊婦健康診査
○妊娠中の家庭訪問（28週以降の妊婦さん全て面談）

産後支援

○出産祝い金 5万円
○産後ケア事業
産後4ヶ月未満の方を対象に、産後の疲労回復や母乳育児不安等に対応するため、県内の助産院でのお泊りや日帰りでの母子ケア等が利用できます。また、費用の一部を村が負担します。

○こんには赤ちゃん訪問事業
地区担当者が家庭訪問等を実施し、母子の健康状況・育児状況等の聞き取り・相談を実施します。

乳幼児期の支援

○すこやかキッズゆがわ（0〜3歳児）
子育て中の母親の仲間づくりと子どもたちの健やかな成長を促すために、**子ども同士が安心して遊ばせることができる子育て支援教室**を開講しています。

○湯川村保育所（6ヶ月以上の乳幼児）
11時間（7時30分〜18時30分）保育を実施しています。
・保育料が国の基準額の約30%以下、**多子世帯については更に保育料を軽減**します。
・保護者のやむを得ない事情等で、家庭保育が一時的に困難となる場合、保育所利用が週3日を限度に可能となります。
・大型室内遊具の設置と天然芝のお庭があり、のびのびと遊べます。

ゆがわ幼稚園

・授業料・通園バスが無料（所得要件により給食費・預かり保育料を軽減）
・園内調理で副食給食（こ飯持参）を提供します。
・預かり保育制度が充実しており、7時30分〜18時30分までの間なら、登園前、登園後、土曜、長期休業中等も預けることができます。（有料。所得要件にて軽減有）

○乳幼児健診・健康相談の実施（5歳まで）
月齢に応じた健診・健康相談を実施。併せて、食事の話・歯磨きの話等、きめ細やかな育児のサポートを行います。

セルフリノベーションが夢でした
子どもの成長に合わせて、家も成長させていきたいです

「湯川村に移住したきっかけは子どもたちが生まれたことでした。それまでアパート暮らしでしたが、この子たち双子が生まれて、自然の中ののびのびと育てたい、と思いました。」と話するのは、喜多方市から隣の湯川村へ移住してきた二瓶さん。当初、喜多方市で住居を探していましたが、仕事がきっかけで湯川村を訪れ、今の住まいと出会ったそうです。「もともとセルフリノベーションが夢だったんです。リビングから庭が見えることが絶対条件で、そこから庭で遊んでいる子どもたちを見るのが今の幸せです。」お宅にお邪魔すると、まだ壁の下地が見えている部分や、塗り直したばかりのドアなど、セルフリノベーションの真っ最中。お話を伺ったリビングは、



二瓶さんファミリー

全国誌に掲載されるほどの完成度です。「子どもたちの成長に合わせて、家も成長させたいです。今は遊ぶ部屋が欲しかったり、もう少し大きくなったら自分の部屋が欲しくなったり、その時のカタチに合わせて考えて行くと思っています。」写真家でもある二瓶さん。子育てと仕事の両立について伺ってみました。「湯川村は子育て支援が充実していて、本当に助かっています。幼稚園も預かり保育が充実していて18時半までなど柔軟に対応してくれます。授業料も無料ですし、子育て家族にはすごくありがたいです。あと、栄養士さんたちが本気で（笑）。子どもたちの健康面まで気にかけてもらっています。」湯川村は地域住民同士の繋がりが強いことも特徴です。「子どもたちと散歩に行くと、夏野菜をもらって帰ってきたり、しかも近所の方が子どもたちを知っているので安心できます。これぞ小さい村のメリットですね。」子育てと仕事の両立を実現し、さらに夢をかなえた二瓶さん。子どもたちと住まいの成長が楽しみです。

「子育て」の環境が整っています

01 18歳まで医療費無料

村民の18歳までは医療費が無料です。また、妊産婦の方の妊娠5ヶ月から出産月の入院・外来負担がありません。

02 近くに病院がある

- ・会津医療センターまで車で約5分
- ・会津中央病院まで車で約15分
- ・坂下厚生総合病院まで車で約15分

03 年少人口が県内3位

平成30年4月現在、湯川村の世帯数は924世帯、人口は3,110人。その内年少人口（0歳〜14歳）は429人、村の13.8%を占めており、年少人口の割合は福島県内で第3位です。



宿題で分からないところがあれば先生が丁寧に教えてくれ、放課後児童クラブでその日の宿題を終わらせてから帰ります。帰り際に本を借りて帰る子どもたちもたくさんいました。

壁には子どもたちの作品がずらり!



村の人に聞く

学 びやすさ



宿題、読書、おやつタイム
すべてを真剣に、
楽しめちゃう環境があります

就学期の支援

○就学援助制度

経済的な理由でお困りの保護者には、学用品費や給食費、修学旅行費について、一定額を支給します。

●小・中学校

○放課後児童クラブ

小学校1年生〜6年生まで利用できる「放課後児童クラブ」を実施。(土曜日・長期休業日は7時30分〜18時30分)

○学びの窓

教育委員会が主催する生涯学習の教室です。読書・読み聞かせ・お話教室などを開催しています。

○小学校入学祝金5万円

○学力、知能、心理、体力の各検査実施。また、英検（中学校）の検定料を助成しています。

●高等学校

冬期間の通学費を助成します。(5千円×3ヶ月)

丁寧な学習指導

少人数学級で、きめ細やかな指導を行っており、学習環境を整えています。

教育設備の充実

全校に電子黒板、洋式トイレ、エアコンを設置しており、子どもたちがのびのびと学習できる空間が整っています。

村民は無料で使用できます

(公民館・ユースピアゆがわは社会教育団体又は公共団体のみ)



01 公民館

利用時間 8:30 ~ 21:00

生涯学習施設として、各種会合や研修などにご利用が可能です。



02 ユースピアゆがわ

利用時間 8:30 ~ 21:00

村民の交流と憩いの施設。村外の方にも会合や研修の場としてご利用いただけます。



03 川の駅(多目的広場)

散策、芋煮会、バーベキュー、スポーツ等の多目的レクリエーションや川の学校等の水辺活動を行う、「憩いと親水の拠点」として親しまれています。



04 人工芝テニスコート

利用時間 8:30 ~ 21:00



05 体育館

利用時間 9:00 ~ 21:00



06 野球場

利用時間 6:00 ~ 19:00



放課後児童クラブ 松原さん

小さい村だからこそそのメリット
村一丸で子どもたちを見守ります

午後3時を過ぎる頃から、湯川村にある2つの小学校から子どもたちが集まります。この施設はユースピアゆがわという村民交流の施設です。今日も子どもたちの元気な声が響いています。

今回お話を伺ったのは、「放課後児童クラブ」の松原さんです。「小さい村だから役場や公民館、体育館などが一ヶ所に集まっています。これはすごくメリットが大きいです。それぞれが近いので利用しやすいですし、何より子どもたちが一ヶ所に集まれるので安心です」。放課後児童クラブには小学校1年生から6年生が集まります。70人超の子どもたちが登録しており、40人くらいは日々集まります。放課後

はもちろん、土曜日・長期休業日の7時30分から18時30分まで現在は無料(おやつ代・保険代のみ負担)で利用が可能です。「ハロウィーンの際は仮装をして役場に訪問したり、クリスマスには多目的ホールのスクリーンで映画鑑賞。公民館で本を借りて帰ったり、夏は日射病対策として体育館を利用したり、小さい村のメリットを思いっきり活用しています」。湯川村は年少人口(0歳から14歳)の割合は福島県で第3位。子どもたちの元気が村の活力になっています。

クラブでは、集まった順におやつタイムが始まります。それが終わると宿題にとりかかります。先生が宿題を見てくれます。そして勉強が終わると公民館の図書コーナーを利用して読書タイム。子どもたちは存分に放課後児童クラブを満喫していました。「若いお母さん達からよく言われることは、折り紙など自分たちが教えてあげられないことを学ぶことが出来て良かった、ということ」。湯川村では村全体で子どもたちを見守ることが出来る環境があります。その良さは子どもたちの笑顔に表れていました。



充実したサポートで 子育てを応援します

結婚

子育て世代包括
支援センター

専門のスタッフが、妊娠・出産、子育てまで、
悩み・不安・疑問等様々な相談に向き合い、
サポートを行います。

妊娠

予防接種助成事業
(妊婦・18歳以下)

ロタウイルス、おたふく、インフルエンザの
予防接種を受けた際に助成します。

母子手帳交付・
妊婦健康診査

妊娠中の家庭訪問
(28週以降の妊婦さん全て面談)

出産

出産祝金5万円

産後ケア事業

産後4ヶ月未満の方を対象に、産後の疲労回復や母乳育児不安等に
対応するため、県内の助産院でのお泊りや日帰りの母子ケア等が
利用できるようになり、費用の一部を村が負担します。

こんにちは赤ちゃん
訪問事業

地区担当者が家庭訪問等を実施し、母子の健康状況・
育児状況等の聞き取り・相談を実施します。

乳幼児期

乳幼児健診・健康相談
(5歳まで)

月齢に応じた健診・健康相談を実施。併せて、食事の話・歯磨きの話等、
きめ細やかな育児のサポートを行います。

すこやかキッズゆがわ
(0〜3歳児)

子育て中の母親の仲間づくりと子どもたちの健やかな成長を促すために、
子ども同士が安心して遊ばせることができる子育て支援教室を開講します。

湯川村保育所

・6ヶ月以上の乳幼児を対象に、7時30分〜18時30分まで11時間保育。
・保育料の半減と多子軽減 保育料が国の基準額の約30%以下、多子
世帯については更に保育料を軽減します。
・一時保育 保護者のやむを得ない事情等で、家庭保育が一時的に困難
となる場合、保育所利用が週3日を限度に可能となります。

ゆがわ幼稚園

・授業料無料、通園バス無料
・預かり保育制度 7時30分〜18時30分までの間なら、登園前、登園後、
土曜、長期休業中等も預けられる制度(有料。所要条件にて軽減有)
・園内調理のおいしい給食 一飯持参での副食給食。

小学校

小学校入学祝金5万円

放課後児童クラブ

保護者が労働等で昼間不在となってしまう小
学生児童を預けられます。放課後(土曜日・
長期休業中は7時30分〜18時30分まで)利用
が可能です。(おやつ代・保険代のみ負担)

中学校

就学援助制度

経済的な理由でお困りの保護者には、学用品費や給食費、修学旅行費
について、一定額を支給します。

高校

冬期間の通学費助成

冬期間の間、高校生の通学費を助成します。
50000円×3ヶ月



医療制度

乳幼児・子ども医療費助成事業があり、
18歳以下の場合は医療費が無料なので
心配な時は気兼ねなく診てもらえます。



学びの窓

教育委員会が主催する生涯学習の教室で、
読書・読み聞かせ・お話教室を開催しています。



丁寧な学習指導

少人数学級で、きめ細やかな指導を行っており、
学習環境を整えています。



放課後児童クラブ



ゆがわ幼稚園



湯川村保育所



ひとつひとつ丁寧に、手焼きにこだわって、昔ながらの焼き方で、本来のパウムクーヘンの美味しさを追求しています。年間100万人以上訪れる道の駅あいつ湯川・会津坂下にはジェラート屋さんとして出店しています。

12か月のジェラートは道の駅で大人気



働
きやすさ

スタッフ全員が協力することで働きやすく、
お互いを想う気持ちが、
美味しさを作ります



就労環境が充実

● 湯川村で働く

湯川村は新規に就農される方を手厚く支援します。新規就農者支援として、湯川村新規就農支援協議会にて、若者の就農をサポートするほか、45歳以下の新規就農者に対して、補助金を交付するほか、地域おこし協力隊の募集も行なっています。また、湯川村工業団地6事業所のほか、多くの事業所が村内にあります。村では、新規の創業を支援しており、近年、新しい店舗が次々にオープンしています。

● 地域おこし協力隊の募集

地域おこし協力隊とは、地域外の人材を活用し、地域活性化を図る制度です。湯川村では新規就農を目指す農業型、情報発信等を実施する観光型の2種類について募集しています。最長3年間の活動期間で、活動報酬のほか、住宅を提供しています。



イベントにも地域おこし協力隊として参加しています

● 働きやすい環境

- 子育て環境の充実
乳幼児期から就学期（小学生）の子どもを18時30分まで預けられる環境が整っており、安心して働くことが可能です。
- 近隣市町村へのアクセスの良さ
会津の中でも規模が大きい市町村である会津若松市、喜多方市等と隣接しており、会津縦貫北道路等を利用して通勤がしやすい環境です。
- 新規就農支援
・45歳以下の新規就農者への補助金として年額120万円（村補助）
・農業次世代人材投資資金150万円（県補助）
・研修受け入れ農家の紹介・農地紹介、あっせん、住宅提供協力
- 村内創業（開業）支援事業
村内で新規創業（開業）した方に対し、建物改修工事費等経費の二分の一（最大で100万円）を補助します。
- 販路拡大支援事業
村内で事業を営む方の事業の販路拡大のために掛かる費用について、費用の二分の一（最大50万円）を補助します。

働きやすい環境を自分たちで考える「お母さん」が多い職場だからこそみんなが協力

「会津の恵みへの恩返し」として、会津湯川米を使った米粉と地元で採れた蜂蜜や果物、野菜を使ったお菓子やジェラートを製造販売しているdomille（ドゥミール）。スタッフはほとんどが女性で、しかもお母さんが多い。さらには近隣市町村から通勤している方が大半であるにもかかわらず、離職率が低い。働きやすい職場として、スタッフが認識しており、その理由を伺いました。「ドゥミールのスタッフはお母さんが多いんです。なので、出勤や退勤時間などを子どもたちの送り迎えの時間に合わせたり、皆が日曜日は休めるように、など工夫しています」と話すのは代表の根本さん。「スタッフが自らシフトを作っているんです。また、商品は会



domille スタッフの方々

津の恵みに感謝し、大切に、ひとつひとつ丁寧に手づくりしています。だからこそ手は抜けません。みんながしっかりと働ける環境を、みんなで作っています」

ドゥミールでは、3種のパウムクーヘンをはじめ、シフォンケーキ、ロールケーキ、焼菓子など素材そのままの味を楽しむことが出来ます。湯川村産のコシヒカリ米粉を使ったサクサクの米粉シュークリーンなども人気です。また、年間100万人が訪れる、道の駅あいつ湯川・会津坂下には「12か月のジェラート」も出店しています。一年間、手間ひまかけて育てられた、採れたてのお野菜や果物を使ったジェラートは、素材本来の味をお楽しみいただけます。

お話を伺っていると、スタッフが近隣市町村から通勤出来る理由は、湯川村のアクセスの良さにあると気づきました。またその逆で、湯川村に居住し、他市町村へ働きに出ることも容易です。さらに湯川村では、創業や販路拡大についても様々な支援制度のメニューが充実しており、ビジネスの展開がしやすい環境にあります。

湯川村で働きたい方へ

01 新規就農者支援

- ・新規就農者支援事業補助金 年額120万円 最長3年間
- ・農業次世代人材投資資金

02 地域おこし協力隊

- ・農業振興業務 募集
- ・観光振興業務 募集

募集対象年齢は20歳以上。活動報酬のほか、スキルアップ経費（一部）と家賃を村が負担します。

03 中小企業の振興と創業支援

- ・村内創業支援事業補助金 経費の1/2 最大100万円
- ・販路拡大支援事業補助金 経費の1/2 最大50万円



移住定住

理想の暮らしへ 移住までのステップ



step. 1 理想の暮らしをイメージ

移住先に求める条件や目的、あなたの「理想の暮らし」のイメージを膨らませてみましょう。

災害の少ない場所に住みたい

自然に囲まれたスローライフを楽しみたい

step. 2 相談・話し合い

移住の目的について家族で話し合いをしましょう。家族と話し合うことによってお互いが持つ移住先のイメージがより具体的になってきます。

通勤・買い物・通院など生活に困らない立地!

仕事と子育てを両立したい



step. 3 移住先の候補を挙げ、情報収集

ネットや電話相談はもちろん、窓口・移住相談会等をうまく活用しながら情報収集しましょう。



● NPO法人ふるさと回帰支援センター

東京都千代田区有楽町2-10-1
東京交通会館8階
【福島県窓口】福が満開、ふくしま暮らし情報センター(ふるさと回帰支援センター内)
TEL:03-6551-2989



● 福島県移住ポータルサイト「ふくしまぐらし。」

福島県企画調整部地域振興課
TEL:024-521-8023



湯川村への移住相談窓口

窓口:湯川村産業建設課商工観光係
TEL:0241-27-8831

何でもお気軽にご相談ください

● 魅力発信サイト「湯川村ヨンヨンプロジェクト」



● 会津de田舎暮らし

福島県会津地方振興局
TEL:0242-29-5292



step. 4 体験・実際に足を運んでみる

移住後に「イメージと違う」ということがないよう、候補地に足を運んでみましょう。福島県のワーキングホリデー事業、湯川村での農業体験などを有効に活用しながら、より居住イメージを具体的にしましょう。

体験

● ふくしまふるさとワーキングホリデー
福島県企画調整部地域振興課
TEL:024-521-7118



● 農業体験
移住就業相談会・農業民泊体験
湯川村産業建設課商工観光係(移住相談窓口)
TEL:0241-27-8831

交通費・宿泊の補助

● ふくしま移住希望者支援交通費補助金
福島県東京事務所
TEL:03-5212-9050

● 移住希望者応援補助金
会津地方振興局
TEL:0242-29-5292

福島県では、県内への移住にあたって必要な現地活動を行った際に交通費の補助を行うほか、会津地方への移住現地見学の際の宿泊費の補助等を実施しています。



step. 5 住まいを探す

土地購入 or 中古物件購入 or 賃貸
あなたにあった条件・こだわりを考えましょう。

● 湯川村※「空家バンク」整備予定
空家情報・村営住宅情報 etc
湯川村産業建設課建設係 TEL:0241-27-8850



POINT

- 湯川村では移住を応援する支援が充実しています
- 若者定住賃貸住宅を整備中(戸建20戸)
- 空家改修補助
- ・県事業 最大250万円(県外又は被災者の方)
- ・村事業 最大100万円(村外の方)
- 若者の住宅取得に対する補助金を創設予定
- 地域おこし協力隊への住宅提供(任期中)

step. 6 仕事を探す

● 一般企業就職

ハローワーク会津若松
福島県会津若松市西栄町2-23
TEL:0242-26-3333
ハローワーク喜多方
福島県喜多方市千刈8374
TEL:0241-22-4111

● 就農(村での就農支援・相談)

湯川村産業建設課農業振興係 TEL:0241-27-8840
○新規就農者支援事業補助金
年額120万円 最長3年間
○農業次世代人材投資資金 150万円(県事業)

● 地域おこし協力隊

湯川村では「農業型」と「観光・情報発信型」で地域おこし協力隊を募集しています。農業に興味がある方、情報収集が得意な方、カメラが好きの方、あなたの興味・特技を活かしてみませんか。

湯川村産業建設課商工観光係
TEL:0241-27-8831

創業や就農をお考えの方にも手厚い支援



POINT

- 湯川村では創業・雇用創出に力をいれています
- 地域おこし協力隊の場合、任期中は住宅の提供を受けることができます(水光熱費等については実費)

- 村内創業支援事業補助金 経費1/2 最大100万円
- 販路拡大支援事業補助金 経費1/2 最大50万円

step. 7 移住生活スタート!!

必要な手続き・引っ越しが終了したら新生活がはじまります。まずは、近所の方や地区の区長さんへ挨拶をしましょう。新しい土地での生活で困ったことがあれば親身に相談に乗ってくれるはずです。



FEEL YUGAWA VILLAGE.



湯川村に来て、
感じてみよう。



Check!

移住体験・農業体験

湯川村では、村で就農することに関心を持つ方に対して、新規就農者向けの農業体験ツアーの実施や説明・相談の機会を設けています。「農業に興味がある」「自分に向いているかわからない」などの不安も、実際の農業現場を体験することで解消出来ます。就農へのアドバイスや村の支援制度についても学ぶことができ、さらに民泊施設を活用して移住を体験することも可能です。

- ・移住就農相談会を開催しています
- ・農業民泊体験も可能です

Check!

ワーキングホリデー

湯川村では、ワーキングホリデーを受け入れています。ある一定の期間、湯川村に滞在し、実際に農業の仕事に従事しながら収入を得ます。地域の人達との交流や学びの場などを通して、通常の旅行では味わえない湯川村を丸ごと体験してもらい、地域との関わり合いを深めてもらおうというものです。農業に興味がある方、学生、社会人、どなたでも参加できます。

お問い合わせ先
福島県湯川村産業建設課 TEL:0241-27-8831 FAX:0241-27-3761 Email:kanko@vill.yugawa.fukushima.jp

= Question and Answer =

村での暮らしQ&A



「実際に暮らすときに気になる、あんなことやこんなこと」

Q 移住後に地域に溶け込めるか心配です。

A 区長さんやご近所の方に相談してみましょう。また、地域での活動・行事に参加してみましょう。各行政区では、コミュニティ活動・共同活動が長年行われており、こういった活動等を通して、交流を深め、助け合いながら暮らしています。こうした風土の村なので、区長さんやご近所の方も親身に相談に乗ってくれるはずです。気軽に相談してみてください!

Q 生活に必要な施設・交通機関の情報が知りたいです。また、自家用車が無くても生活できますか?

A 暮らすことはできます。ただ、自動車を持っていた方が便利です。村内には金融機関（農協・郵便局）や日用品を購入できる店舗（道の駅・コンビニ等）があります。また、路線バスが通っているほか、駅もありますので、会津若松市・喜多方市等近隣市町村へのアクセスもできます。ただ、大都市と比較するとタイヤ本数が少ないため、自家用車があった方が暮らしやすいです。一家に2台以上車を所持している世帯も多くあります。

Q 自然災害は多いですか？
また、雪はどのぐらい降りますか？

A 台風、地震、洪水などの自然災害の発生は少ないです。また、10cm以上の降雪がある日は約15日程度です。自然災害の発生は比較的少ないです。山間部がないため土砂崩れが発生しません。ただ、いつ災害が発生するかわかりませんので、村が作成する防災マップ等を参考に普段から避難先・避難経路を確認してくださいね。雪が10cm以上降った際は、村にて村道除雪を行っており、除雪出勤回数は年間約15回程度です。ただ、雪が積もってなくても路面凍結等がありますので、自家用車をお持ちの方はスタッドレスタイヤの装着をお願いします。

Q 趣味のサークル等がありますか？

A 体育協会加盟団体・文化協会加盟団体のほか、自主サークル活動等多様な団体があります。平成30年4月1日現在で、体育・文化関係の団体・クラブ・サークル等は30団体以上あります。内容や加入については、湯川村公民館までお問合せください。湯川村公民館（湯川村教育委員会社会教育係）TEL:0241-27-4107

Q 農業を始めたいのですが、
どうしたらよいですか？

A 地域おこし協力隊制度等もありますので、まずはご相談ください。村では、意欲ある人材を積極的に誘致し、農業振興・地域活性化を目的とした農業型の地域おこし協力隊を募集しています。任期期間中の3年間を就農のための研修・準備期間とし、研修の受入農家紹介・農地斡旋・任期期間中の住宅提供を行っているほか、地域おこし協力隊として村からの報酬や活動費等も支給されます。農業を主たる収入として生活していくには、農地・施設・設備・技術等高いハードルがありますので、まずは地域おこし協力隊制度を活用し、就農する基盤を作ってはどうでしょうか。相談窓口：湯川村産業建設課 TEL:0241-27-8831





湯川村ヨンヨンプロジェクト

4km四方の小さな村に、溢れんばかりの素敵な魅力が詰まっています。その魅力を惜しみなく発信し、湯川村の素晴らしさをたくさんの方々へ届けるプロジェクトです。

yugawa-44project.jp



湯川村 × LINE@

湯川村ヨンヨンプロジェクトと連動し、湯川村の魅力はもちろん、お得情報も配信しています。さらにお友だち限定情報もあります。

@yugawamura-44



湯川村CM

「ふくしまの元気!応援CM大賞2018」において、湯川村のCMが大賞を受賞しました。テレビ等にてご覧になった際には、湯川村を思い出してください。

<https://youtu.be/TnYq2-f6UXU>



